

**広島県子供の生活に関する実態調査・分析業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和5年3月28日から令和5年3月30日まで
2	場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	環境県民局 学事課長 健康福祉局 総括官（子供未来応援） 健康福祉局 子供未来応援課長 健康福祉局 地域共生社会推進課 商工労働局 働き方改革推進・働く女性応援課長 教育委員会事務局 総括官（乳幼児教育）
4	議 題	広島県子供の生活に関する実態調査・分析業務予定者の選定
5	担当部署	健康福祉局子供未来応援課
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>「広島県子供の生活に関する実態調査・分析業務」の業務予定者の選定にあたり、選定委員の意見を取りまとめた。</p> <p>A社の提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の意向に沿った分析ができることに、あまり期待ができないように考える。 ・経費面での優位性はあるが、提案内容は、標準程度である。 ・報告書の内容が調査分析までに留まり、求められる支援、今後の課題等の総括が入っていないなど、今後の施策検討への活用を念頭に置いていないのではないかとと思われる。また、H29調査と比較分析する提案となっており、H29調査とは調査項目・目的等が異なることを理解していない懸念がある。 ・調査の基本となるデータ入力の正確性に対して、目検等により、慎重に対応される点や、調査結果に基づく課題の把握や解決策の提案に期待する。 ・調査票の回収について、具体的な提案がなく業務の実施に不安がある。 ・仕様書4（5）にある最終報告書の記載事項にある②調査結果の総括（求められる支援、今後の課題等）が記載されるようになっていない提案書である。 <p>B社の提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の意向に沿ってポイントを押さえ詳細に分析し、中間報告などを行うなど県と擦り合わせが行える点、グラフ等の表現力を評価できると考える。 ・各工程での工夫が見えるなど、提案内容がより具体的であり、類似の業務実績も含め、今後の県の施策検討・立案に資する分析等が期待できる。 ・単なる調査の実施・分析だけでなく、その後の施策検討まで視野に入れた提案内容となっている。また、インターネット回答の併用など、効率化の提案もあり、評価できる。 ・制度の狭間の問題も含めて、分析する点は評価できる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県独自視点での分析を加えるなど、次期プランの策定に向けた有益なデータ活用が期待できる。 ・ 指定された業務内容を十分理解し、細かい点まで有効な提案がなされている。国の結果とのクロス集計により課題の抽出と必要な支援の方向性を示す提案書である。
--	---

※「7 議事内容」については、委員の発言、質疑応答、会議で協議された内容、評価・選定理由などについて、具体的に記載すること。

※議事要旨を作成し公開する場合は、「7 議事内容」について、提案者ごと、審査基準ごとの評価・選定理由などについて記載することとし、不開示情報は記載しないこと。

※公開にあたっては、不開示情報が記載されていないことを十分にチェックした上で行うこと。